

心かかやき

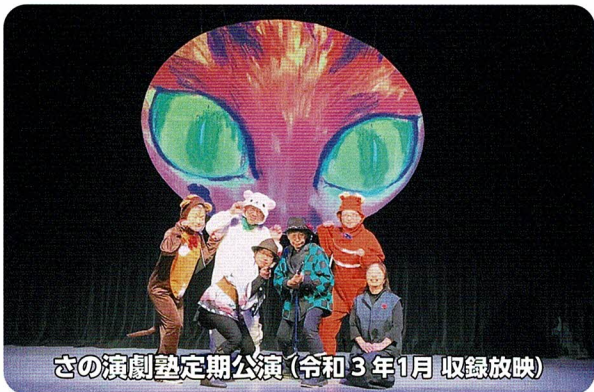
題字 / 旭岡聖順

第27号

令和3年9月1日

(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-0003
栃木県佐野市大橋町 2047
(佐野市郷土博物館内)
電話 0283-55-5666
<https://kagayaki.sanocity.jp/>

令和2年度の事業では、芸術・文化に関する3団体へ活動助成を実施しました。



さの演劇塾定期公演 (令和3年11月 収録放映)



ユネスコ世界遺産写真展 (令和2年9月)



天明鋳物伝統文化継承の講演会 (令和2年11月)

郷土「さの」再発見！ 広がれ！わたしの世界

佐野市民文化振興事業団は「すべての市民が優れた文化環境のもと、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を理念として設立された公益財団法人です。皆さんが芸術・文化に触れる機会や人材の育成などの事業を進めていきます。

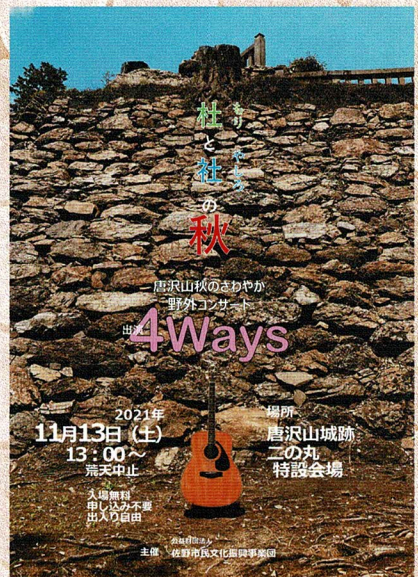
開催予告

山城で音楽ライブ

秋のさわやか野外コンサート

会場 唐沢山城跡二の丸

出演 4Ways (フォークバンド)



令和3年11月13日(土)
午後1時開演 ※荒天中止
入場無料・申込不要

問合せ ☎ 55-5666

主な記事

- 理事長あいさつ「10年目を迎えて」 佐野正行 … 1
- 令和3年度評議員・役員等一覧 …………… 1
- 令和2年度末現在資産状況 …………… 1
- 令和2年度事業報告 …………… 2

- 識者コラム「民俗芸能を続ける人たち」 津布久貞夫 … 2
- 講座募集・企画展共催事業情報 …………… 3
- 令和4年度芸術・文化活動助成事業募集 …… 3

理事長あいさつ

十年目を迎えて



公益財団法人
佐野市民文化振興事業団
理事長 佐野 正行

オリンピックを間近に控える中、本年度も各地に緊急事態宣言が出されるなど、先行き不透明なスタートとなりました。それでも、これが皆様の手元に届く頃にはワクチン接種も進み、日常が徐々に戻りつつあることを願わずにはられません。

昨年来、このような状況下ではありませんでしたが、本事業団では予てより懸念でありました事務局の独立を四月一日に実現し、改革の第一歩を踏み出すことができました。さらに、公益目的事業の変更認定も実現いたしました。公益財団法人の事業は、行政庁(県)の認定が必要ですが、本事業団の場合、実施する内容を細かく規定しており、実施可能な事業内容が限定されてきました。そのため、公益法人に移行して十年目を迎えるにあたり、これまでの内容を検証し、時代に即

した多彩な事業展開が可能となるよう領域の拡大を図りました。

令和三年度も引き続き、市民の皆様の自主的な芸術・文化活動についてご支援を行いつつ、本市における文化的環境の醸成を図りながら、潤いと活力のあるまちづくりに少しでも貢献してまいりたいと存じます。

事業運営に際しては、これまで皆様からのご支援で設けられた貴重な基金を安全性第一に、地方債や定期預金で運用し、その利息収入で運営してまいりました。しかしながら、長引く日銀の超低金利政策などにより、運用益が年々減少する事態となっております。これまでの運用方法を今後も踏襲した場合、厳しさがさらに増し、数年のうちに運用益がほぼ見込めない状況に陥ることが予想されます。そのため、本年度は、新たに理事長の諮問機関として「資金管理運用委員会」を設置し、中長期的展望に立って、今後担うべき事業団の役割に基づき、資金運用の在り方や方法についてご議論いただくことといたしました。

微力ではありますが、因習に囚われることなく、時代に即した事業団改革を進めてまいり所存ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

評議員・役員等一覧(順不同)



令和3年度定時評議員会風景

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 評議員 | 島田 嘉内 | 片柳 展代 |
| | 金井 猛弘 | 佐藤三武朗 |
| | 津布久貞夫 | 矢島 堅司 |
| 顧問・理事 | 金子 裕 | |
| (顧問) | 佐野 正行 | |
| (理事長) | 加藤 栄作 | |
| (専務理事) | 川久保紀久子 | |
| 旭岡 靖人 | 小林 貴代 | |
| 菊池 宏行 | 成瀬 正彦 | |
| 白澤 幸治 | 出居 博 | |
| 事務局長 | | |

令和三年三月三十一日現在の資産状況

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	6,041,359
2. 固定資産	
(1) 基本財産	503,633,709
(2) 特定資産	422,020,605
(3) その他固定資産	20,010,001
固定資産合計	945,664,315
資産合計	951,705,674
II 負債の部	
1. 流動負債	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	900,123,845
(うち基本財産への充当額)	503,633,709
(うち特定資産への充当額)	396,490,136
2. 一般正味財産	51,581,829
(うち基本財産への充当額)	0
(うち特定資産への充当額)	25,530,469
正味財産合計	951,705,674
負債及び正味財産合計	951,705,674

(単位：円)

令和2年度事業報告

【芸術・文化活動助成事業】

- ・「第1回ユネスコ世界遺産写真展」
主 催 佐野ユネスコ協会
期 日 令和2年9月11日(金)～13日(日)
場 所 吉澤記念美術館地域交流センター
入場者数 約110人 ※表紙写真参照
- ・佐野天明鋳物伝統文化の継承・普及啓発活動
講演会「佐野天明鋳物の文化財的価値」
主 催 天命鋳物伝承保存会
期 日 令和2年11月21日(土)
場 所 佐野市中央公民館3階ホール
入場者数 約80人 ※表紙写真参照

- ・さの演劇塾第11回定期公演
(佐野ケーブルテレビ収録放映形式)
主 催 さの演劇塾
放 映 令和3年1月1日(金)～10日(日)
テーマ 「宮沢賢治を紡ぐ」他 ※表紙写真参照

【事業団報『かがやき』第26号の発行】

- 発行日 令和2年9月1日
- 配 布 市内全戸及び市内各施設等 46,000部

【文化関連団体事業への後援】

- 2団体延べ3事業を実施

【コロナ禍により中止となった事業】

- ・演劇鑑賞教室事業 ・美術品展示及び鑑賞事業 (佐野ルネッサンス鋳金展参画事業・壁画アートプロジェクト)
- ・芸術文化に関する人材育成事業 (アートマネジメント講座・子ども演劇サマースクール)
- ・文化関連団体への後援 (3団体3事業)

民俗芸能を続ける人たち

津布久 貞夫

「みんなの息がぴったり合うと気持ちいいね」これは、八木節を稽古していたリーダーの一言である。八木節は、笛や鉦しょう、鼓つづみに加え音頭取りが受け持つ樽や締太鼓などで構成されるオーケストラである。この15・6人の演奏が一つになると本当に気持ちいいらしい。演奏は、大音量のため、周囲に迷惑がかかることを懸念し、この団体は水田の中のポンプ小屋で練習していた。

佐野市の民俗文化財の中でも民俗芸能は多彩である。神楽を始め芦哇獅子舞や水木の田植唄や木遣り、八木節などの民謡、また牧歌舞伎など栃木県下の他市町に比べその種類が多いことが特徴である。何よりも長く民俗芸能を支えてきた人たちが市内に沢山いることに誇りを感じる。

ところで当事者たちは、皆、仲がよい。メンバー同士が太いきずなで繋がっている団体ばかりである。「息がぴったり合う」稽古がそうさせているのか、この「繋がり」が地域を支援する力になっているところもある。民俗芸能の目的や役割は様々であるが、地域の中で人と人とを繋ぐ匂いを発しているところが今の時代、素晴らしい。

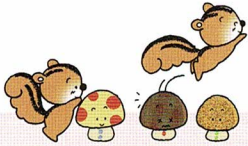


鹿沼市「奈佐原文楽」調査より (平成30年)

プロフィール:

1957年佐野市生。宇都宮大学教育学部卒業後、市内小・中学校に勤務。1988年より3年間佐野市郷土博物館勤務。指導主事として小・中学校の博物館利用事業や民俗分野を担当。栃木県教育委員会主催「栃木県緊急民俗芸能調査」(1998年)等に参加。2020年佐野市教育長就任。日本民俗学会、民俗芸能学会、下野民俗研究会、山越神楽保存会等に所属。

民俗芸能の継承は、負担が大きい。それ故に後継者不足、資金不足などで、衰退していく団体が多い。そんな状況下でも、芸能を続けていこうとする理由は何なのか、尋ねると「仲間がいるし、最後はプライドだね。」と応える。格好いい。自分たちが受け継いだ芸能を次の世代に繋ぐことに誇りをもっている。このプライドを支えているのは文化に対する意識の高さに違いない。



講座などに参加してみませんか？



申込み
・
問合せ

(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-0003 栃木県佐野市大橋町 2047 (佐野市郷土博物館内)
TEL 0283-55-5666 FAX 0283-55-5699
HP <https://kagayaki.sanocity.jp> E-mail: bunka@sctv.jp

求む！活動サポート
ボランティアメンバー

事業団の活動を支援いただける方を募集しています。

文化活動人材育成セミナー 佐野の歴史やこれまでの暮らしに学び、 新たな文化の創造に向けて踏み出そう！

佐野には地域ならではの奥深い文化が受け継がれてきました。地域の歴史や暮らしなどに思いを馳せ、セミナーに集う人たちがテーマを決めて掘り下げ、互いの意見交換を通じ、改めて佐野らしさの発見や郷土の魅力に気づききっかけを、講師・受講者の相互交流で進めるセミナー。初めての方、大歓迎！

期日 10月2日(土)～令和4年2月26日(土) 全5回

回	月日	内容
1	10/ 2	佐野の文化財と人々の暮らしについて (ガイドダンス、テーマ・グループ設定等)
2	10/30	フィールドワーク経過報告 ①
3	11/27	フィールドワーク経過報告 ②
4	1/15	フィールドワークまとめ
5	2/26	報告・意見交換会

時間 各回とも土曜日 午後2時～4時

場所 佐野市郷土博物館 (別にグループ活動あり)

講師 西村美東士氏 (若者文化研究所代表・大学教員
佐野市生涯学習推進アドバイザー)

対象 地域の歴史や文化に関心のある方 20名

参加料 無料

OPEN 気軽にいらっしやい！ おしゃべりサロン

歴史・文化・趣味などの話しをしたい人、聞きたい人、集まれ！
詳しくなくても大歓迎！気軽に楽しく過ごしませんか。

期日 9/25・10/30・11/27・12/15・2/26

時間 各回とも土曜日 午前10時～11時30分

場所 佐野市郷土博物館 ※参加無料

さの再発見！専門講座

新企画

見る・知る・わかる仏像の世界

仏像にはさまざまな尊格があります。その意味とお姿について映像を見ながら学んでみましょう。仏像の魅力を知り、興味や楽しみを広げませんか。

期日 令和4年 1/16・1/30・2/13 全3回

時間 各回とも日曜日 午後2時～4時

場所 佐野市郷土博物館

講師 文星芸術大学 准教授 大澤慶子氏

対象 興味や関心のある方 20名

受講料 1,000円

郷土博物館・美術館企画展共催事業のお知らせ

＝江戸時代、佐野に塾を開いた陽明学者＝

「中根東里展」

— 「芳子」と門人たち —

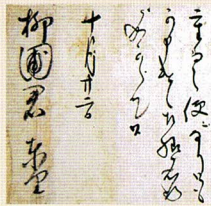
10月2日(土)～11月28日(日)

記念講演会 10月16日(土) 午後2時～

名古屋大学 教授 塩村 耕氏

佐野市郷土博物館

佐野市大橋町 2047 TEL 22-5111



東里書簡 (一部)

＝京から来て、佐野に住んだ南画家＝

「王欽古展」

令和4年3月19日(土)～5月8日(日)

特別講演会 3月19日(土) 午後2時～

尚美学園大学 教授 伊藤紫織氏

佐野市立吉澤記念美術館

佐野市葛生東 1-14-30 TEL 86-2008

※今回は小・中学生向けパンフレットを特別に発行予定



桃李園夜宴図 (一部)

パンフレット
無料

令和四年度 芸術・文化活動 助成事業募集

当事業団では、芸術・文化活動や地域の伝統文化の保存継承を支援します。地域の特色を活かし、個性豊かな文化を創造する事業や指定を受けた無形民俗文化財の担い手育成事業が対象となります。助成対象は活動の本拠が市内にある団体で、事業を完遂できる見込みがあり、規約が整い経理が適切に行われている必要があります。なお、企業や学校のサークル・部活動などは対象外です。

◇応募期限

令和三年十一月二十六日(金)

◇助成金額 一万円～一〇万円

◇応募方法

※所定の用紙で申請してください。尚、一万円の助成を受ける場合に限り、随時交付申請を受け付けています。

※募集要項、様式を用意していますので、左記までお問合せください。

【問合せ】

佐野市民文化振興事業団事務局

(佐野市郷土博物館内)

☎五五・五六六六

編集後記

今年度から当事業団の事務所が佐野市郷土博物館の中に移りました。これからも、文化の振興を通じ、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりに努めてまいります。(栗原)

※イベント・講座などは新型コロナウイルスの影響により変更・中止の可能性ががあります。